

# 研究テーマ:

「日本の生態系アセスメントにおける代償ミティゲーションの現状と課題」

# 背景と目的:

## 1999年 環境影響評価法 施行

大規模事業に伴う環境影響に対し、ミティゲーション(環境保全措置)を講じることが義務付けられた。

しかしながら、生態系アセスメントにおいては、環境影響の定量的評価がほとんど行われてきていない。

曖昧な環境影響評価が行われ、事業による環境影響が大きく残るまま事業が実施されている。

日本における生態系アセスメントのミティゲーションの現状と課題を明らかにすることを目的とする。

## 研究概要：

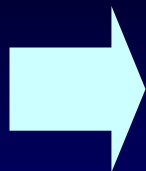
日本の生態系アセスメントにおける代償ミティゲーションの現状を知る為に、これまでに環境影響評価法に基づき行われた環境アセスメント事例を調査する。

これまでに代償ミティゲーションが行われた事例が何件あり、それはどういったものであるのかという現状を明らかにする。

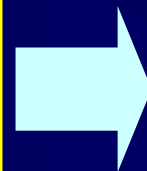
そして、今後環境アセスメントにおいて行われる代償ミティゲーションの為に、どのような課題があるのかを明らかにする。

## 研究のフロー

環境影響評価書の分析



生態系アセスメントにおける代償ミティゲーションの現状把握



生態系アセスメントにおける代償ミティゲーションの課題